

%となっている。47年度と比較すると、いずれも増加傾向がうかがえる（図5）。

- (8) 外食の内容をみると全国平均でも、都市町村別にみても和食の占める割合が多い。そば、うどん類、パン類を主とした外食も約40%もみられる（表5）。

表5 都市町村別にみた外食（昼）内容構成比

(%)

	総 数	そば、うどん類	パ ン 類	和 食	洋 食
全 国 平 均	100	30.1	9.7	41.6	18.7
10 大 都 市	100	31.1	9.3	36.1	23.6
15 万 以 上 の 市	100	30.9	9.0	41.0	19.2
5 ～ 15 万 の 市	100	31.2	10.1	40.8	18.0
5 万 未 満 の 市	100	33.1	13.0	41.3	12.6
町 村	100	25.6	10.0	51.3	13.2

5. 欠 食 の 状 況

- (1) 3日間調査のうち1回でも欠食した者は、朝食では14.4%、昼食8.9%、夕食で6.6%で朝の欠食が最も多い。又3日間毎朝欠食した者は7.1%に及んでいる。47年度と比較すると、朝、昼、夕とも欠食者の増加が著しい。例えば3日間毎朝欠食した者は47年度の3.1%に対し48年度は7.1%にも及んでいる（表6）。

表6 朝昼夕別にみた欠食状況

	47 年 11 月				48 年 11 月			
朝	10.2%	1 回	欠 食	5.2%	14.3%	1 回	欠 食	5.1%
		2 回	欠 食	1.9%		2 回	欠 食	2.2%
		3 回	欠 食	3.1%		3 回	欠 食	7.1%
昼	5.6%	1 回	欠 食	3.4%	8.9%	1 回	欠 食	3.3%
		2 回	欠 食	0.9%		2 回	欠 食	1.0%
		3 回	欠 食	1.3%		3 回	欠 食	4.6%
夕	3.1%	1 回	欠 食	1.9%	6.6%	1 回	欠 食	2.1%
		2 回	欠 食	0.4%		2 回	欠 食	0.4%
		3 回	欠 食	0.7%		3 回	欠 食	4.1%

- (2) 都市町村別にみると大都市ほど欠食率は高い傾向がみられる。48年度でみると3日間毎朝欠食した者は10大都市で8.3%、15万以上の市で7.7%、5～15万の市7.3%、5万未満の市4.6%、町村で6.5%で、5万未満の市の欠食率が低い傾向がみられる。昭和47年度に比べると欠食率は全般に増加している（図6）。

6. 皮下脂肪厚でみた肥満傾向

- (1) 成人層の肥満傾向を調査するため皮下脂肪厚（上腕背部＋肩胛骨下部）の測定を行った。男子の場合肥満（皮下脂肪厚40mm以上）のものは、20歳代13.1%、30歳代14.1%、40歳代14.7%、50歳代13.6%であり、著しい肥満（皮下脂肪厚50mm以上）のものは、各年齢層について4～6%程度で年代による差は比較的少ない（図7）。